

学校名 秩父市立吉田中学校
所在地 秩父市下吉田 6 4 0 2 番地
電話 0 4 9 4 - 7 7 - 0 0 1 5



1 本校の概要

本校は、秩父市の北西部に位置する、開校 55 周年を迎える全校生徒 102 名の小規模校である。早春にはカタクリ、福寿草やカイドウが咲き、夏には蛍の飛び交う風光明媚な里山にあり、棕神社の龍勢祭りや貴布祢神社の神楽をはじめ、多くの無形文化財が守り伝えられている地域の学校である。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 学校図書館教育における取組
- ・ 教員業務支援員、委員会などを活用した取組

(2) 実践の概要

ア 学校図書館教育における取組

- ・ 全校生徒に「自分のオススメの本」を書いてもらい廊下に「吉中生オススメ本棚」を掲示。



- ・ 学校の HP に「図書室コーナー」を掲載し、図書室の取組を随時配信している。
 - ・ 去年同様に ICT を活用し、新刊本を写真に撮りスライドショーで紹介している。
- イ 教員業務支援員、委員会などを活用した取組
- ・ 毎月の「図書だより」発行による季節の本や特集本、図書室のイベントなどの紹介。
 - ・ 季節にあった室内外掲示の工夫。
 - ・ 手書きの POP による本の紹介や「オススメの本」が書いてある本のおみくじ、言葉合わせのクジなどの設置。
 - ・ 「朝読書にオススメの本」のコーナー作り。
 - ・ 図書委員会の生徒による「オススメの本」紹介の掲示。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 学校図書館教育における取組

- ・ 「生徒たちのオススメ本棚」を作ることで、友だち同士でこの本棚の前に立ち止まり、お互いの「オススメの本」の話をしていた。簡単なビブリオバトルにもなっている。
- ・ 「朝読書にオススメの本」のコーナーでは、朝の時間に読み切れる短編集や、「中学生にオススメの本」を選び、手に取り借りていく生徒もいた。

イ 教員業務支援員、委員会などを活用した取組

- ・ 多くの生徒が本のおみくじを引き、楽しんで本探しをしていた。
- ・ 3つの言葉を合わせて言葉遊びを楽しむクジでもたくさんの生徒が休み時間にやってきて楽しむ姿や、笑い声が聞こえてきた。
- ・ 「オススメの本」を借りていく生徒が多くいた。

(2) 課題

ア 学校図書館教育における取組

- ・ 年に1度だけではなく、学期に1回などを目安に生徒たちに「オススメの本」を書いてもらい飽きないようにアップデートしていくことが必要である。

イ 教員業務支援員、委員会などを活用した取組

- ・ 様々な分野の本にふれてもらえるよう特集本などを工夫する。
- ・ 生徒朝会やお昼の放送などで図書委員の発表の場面を増やす。

(3) 終わりに

これからも明るい図書室づくりを継続し、多くの生徒が訪れたい図書室を維持していきたい。委員会の生徒の自主的な活動にも期待している。